

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成30年12月17日

計画の名称	49 入善町における道路構造物の適確な維持管理事業（防災・安全）										平成25年度～平成29年度（5年間）	交付対象	入善町	計画の目標
橋梁の適確な維持管理を行い、安全な交通を確保するためのまちづくりを進める。														
計画の成果目標（定量的指標）														
・H23年度に策定した入善町橋梁長寿命化修繕計画に基づき、入善町が管理する橋梁について、対策率を16%（H25）から100%（H29）へ上昇させる。 ・町管理橋梁の点検・診断の実施割合を72%（H29）へ上昇させ、長寿命化修繕計画（個別施設計画）を策定する。（点検計画：H27-H30）														
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値			備考	
										当初現況値	中間目標値	最終目標値		
										(H24当初)	(H27末)	(H29末)		
(長寿命化修繕計画に基づく町管理橋梁の対策率)＝(対策済み箇所数)／(橋梁数)										17%	83%	100%		
(町管理橋梁の点検・診断実施率)＝(点検・診断済み箇所数)／(町管理橋梁数)										－	20%	72%		
全体事業費	合計 (A＋B＋C)	145 百万円	A	145 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C／(A＋B＋C＋D)		0.0%	

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
	平成30年12月
	公表の方法
	入善町ホームページ

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		老朽化した町管理橋梁について、点検及び修繕を行った結果、道路の安全性が向上した。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（長寿命化修繕計画に基づく町管理橋梁の対策率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	計画通りに目標値を達成している。
		最終実績値	100%		
	指標②（町管理橋梁の点検・診断実施率）	最終目標値	72%	目標値と実績値に差が出た要因	計画通りに目標値を達成している。
		最終実績値	72%		
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					

3. 特記事項（今後の方針等）

今後も引き続き、町管理橋梁の定期点検及び、長寿命化修繕計画に基づいた修繕等を行い、安全・安心な道路交通の確保を図る。

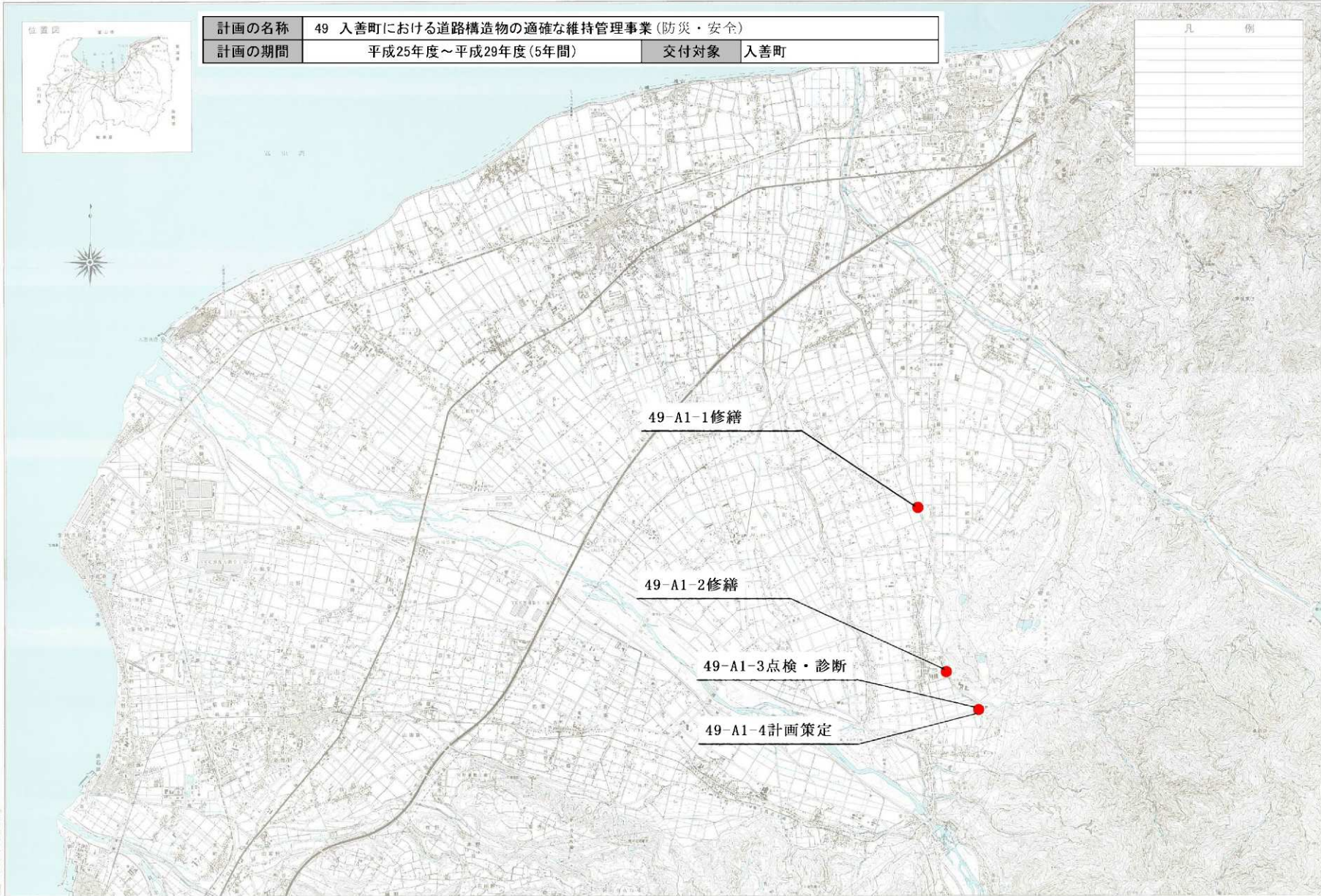
入善町管内図

平成十九年六月作成



計画の名称	49 入善町における道路構造物の適確な維持管理事業(防災・安全)		
計画の期間	平成25年度～平成29年度(5年間)	交付対象	入善町

凡	例



入善町

1:25,000